



# 保健室便り

No93 .2019年2月

## 近畿地方で麻疹患者が急増！

### あなたは免疫を持っていますか？

2019年に入って大人の麻疹（はしか）患者が急増しています。麻疹は感染力が非常に強く、空気感染します。免疫が不十分な人が感染するとほぼ100%で発症します。成人が感染すると、肺炎や中耳炎などを合併しやすく、重症化すると脳炎を引き起こし、まれに死亡することがあります。

**予防方法は、ワクチンを接種して免疫を獲得することです！**



生まれ年と麻疹ワクチン接種の経緯

#### ➤ 1977年以前に生まれた人

麻疹ワクチンは1966年に始まりましたが、1977年までは任意で受けるワクチンだったので、子供のころ自然に麻疹に感染する機会が多く、生涯免疫を獲得している可能性があります。

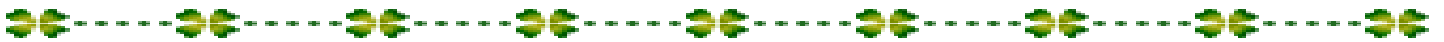
麻疹感染履歴は、記憶ではなく母子手帳などの記録で確認する必要があります。

#### ➤ 1978年から2000年4月1日生まれの人

この時代の人には1回の定期接種だったので、十分な免疫力がついていない可能性があります。但し、1990年から2000年4月1日生まれの人は、2008年から5年間、追加のワクチン接種を受ける機会が設けられたので、中学1年か高校3年の時に2回目のワクチンを接種していれば生涯免疫を獲得しています

#### ➤ 2000年4月2日以降に生まれた人

1歳と5～6歳までに2回の定期接種を受けることが、決められたのできちんと2回接種を受けていれば生涯免疫を獲得しています。



麻疹ワクチンを過去に1回受けていて、抗体価が低下した人が麻疹に感染すると、麻疹の典型的な症状が現れず、全ての症状において軽症の場合があります。しかし、麻疹ウイルスを他者に感染させる危険性は同じです。軽症のため治療が遅れ、社会生活を続けると、今回のような流行を起こす要因の一つとなります。

◆ 今後も海外から麻疹ウイルスが持ち込まれる機会は、増えることが予測されます。自分のワクチン接種履歴を、母子手帳等で確認し、2回のワクチン接種を受けていない人は、ワクチン接種を受けることを勧奨します。

#### ◆ ワクチン接種について

- ワクチン接種は、お近くの小児科や内科にお問い合わせ頂き予約が必要です。
- 健康保険対象外となりますので費用は、自費となります。
- MR（麻疹・風疹混合）ワクチンを受けた後、発熱、接種部位の発赤、腫れなど副反応を起こすことがあります。当日は激しい運動、飲酒などはさけましょう。入浴は可能です。急激な体調不良や高熱があれば医師の診察が必要です。

#### ◆ 麻疹の症状について

- ✚ 麻疹に感染すると10日～14日程度の潜伏期間を経て、咳、鼻水、喉の痛み、口腔内に白いぶつぶつができる等、風邪のような症状が2～4日続きます。その後、高熱が出て全身に発疹がでます。合併症など発症しなければ10日間程度で回復しますが、全身の発疹は色素沈着し、しばらく残ります。

♥不安なこと、解らないことがあればいつでも保健室へお尋ねください。

桃山学院大学 学生支援課 保健室

